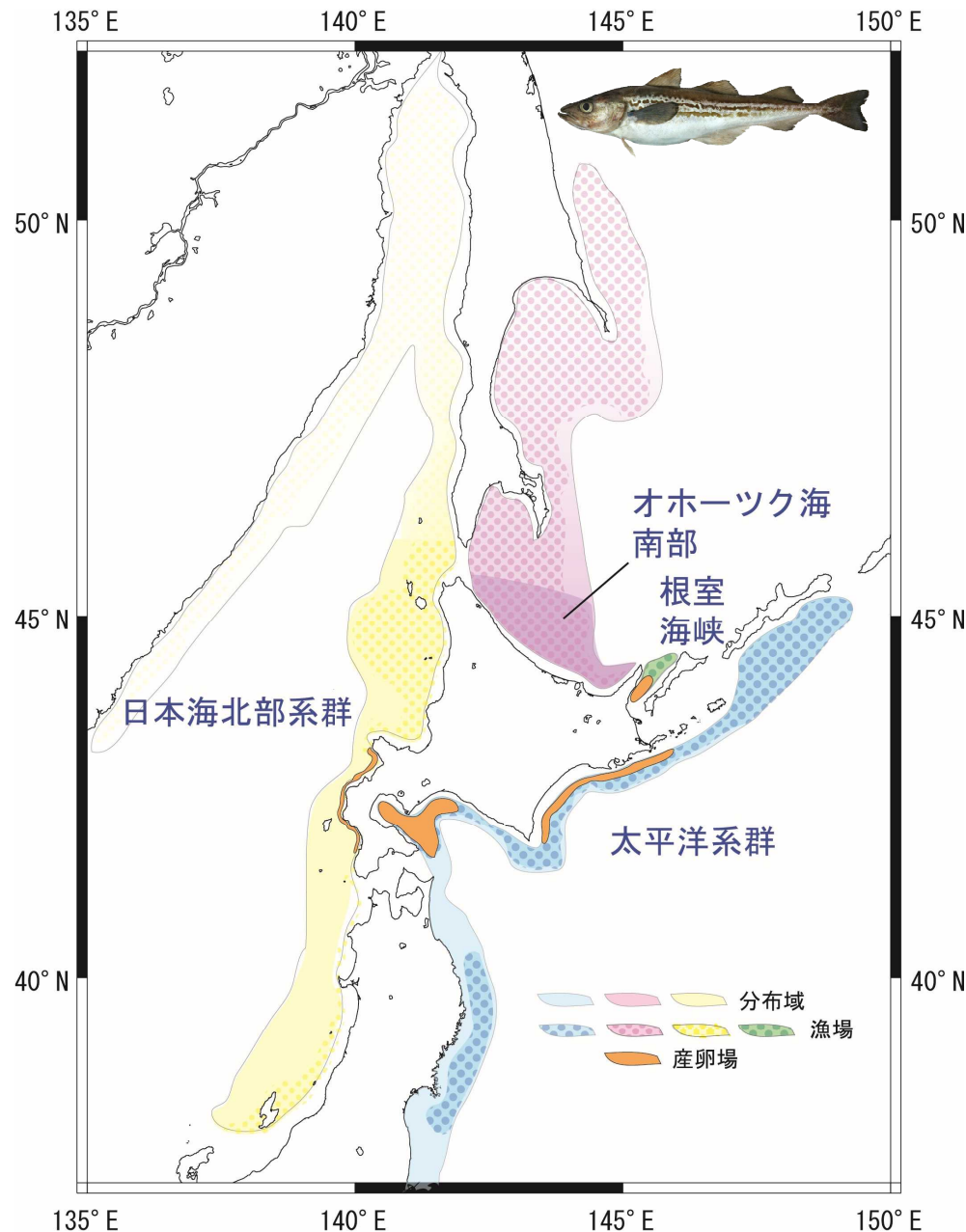




スケトウダラ
平成30年度資源評価結果

我が国周辺のスケトウダラ 生物学的特性



✓ 日本周辺では4つの集団に分けて資源評価

- 日本海北部系群
- 太平洋系群
- オホーツク海南部
- 根室海峡

■ 寿命：10歳以上

■ 成熟：概ね3歳から成熟開始
5歳で大部分が成熟

■ 産卵期：冬～春季

■ 食性：オキアミ類、カイアシ類など浮遊性小型甲殻類、魚類、いか類、ほか

■ 捕食者：海獣類、マダラなど魚類、共食い

資源評価の流れ①(ABC算定) 日本海北部系群・太平洋系群

【情報の収集】

- 漁業データ：漁獲物の年齢、獲れ具合（指標値）
- 調査船調査データ：親魚や新たに加わる子供（加入量）の現存量（指標値）

【資源量の推定】

2017年漁期までの、漁期別・年齢別の資源量

- 漁獲の主な対象は2歳以上
- 親魚量（成熟した魚（4歳以上）の資源量）

資源水準・動向の判断

2018年以降の将来の加入量を
過去の加入状況、親子関係から仮定

【資源量の予測】

- 2019年漁期の資源量

漁獲シナリオ（将来予測結果を基に選択）

【2019年漁期ABCの算定】

- 2019年漁期の予測資源量と漁獲シナリオから算定

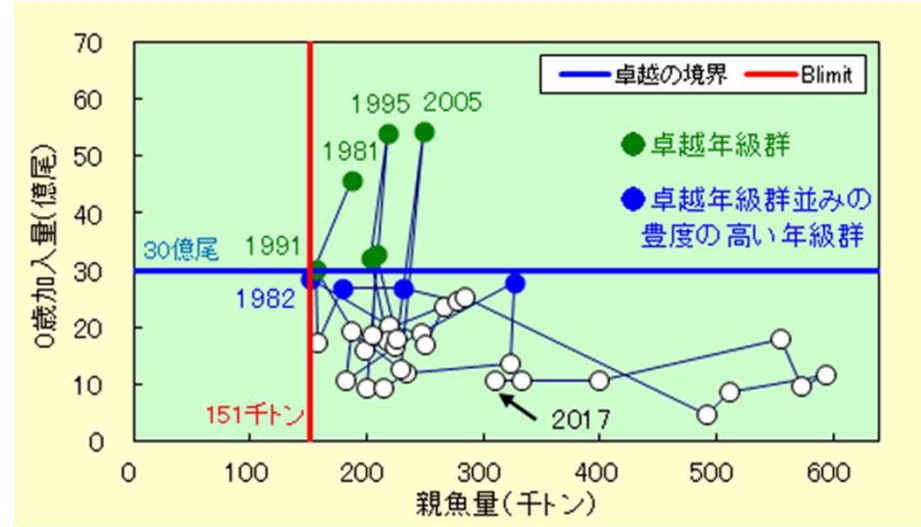
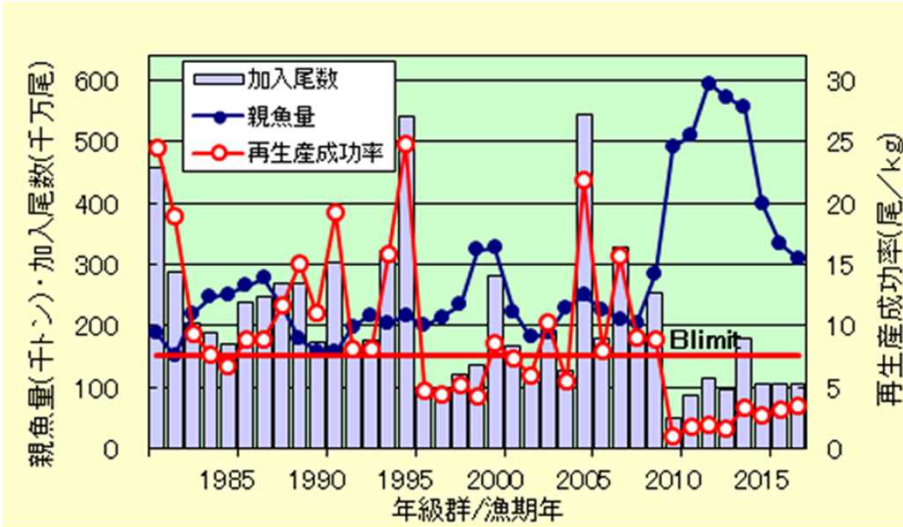
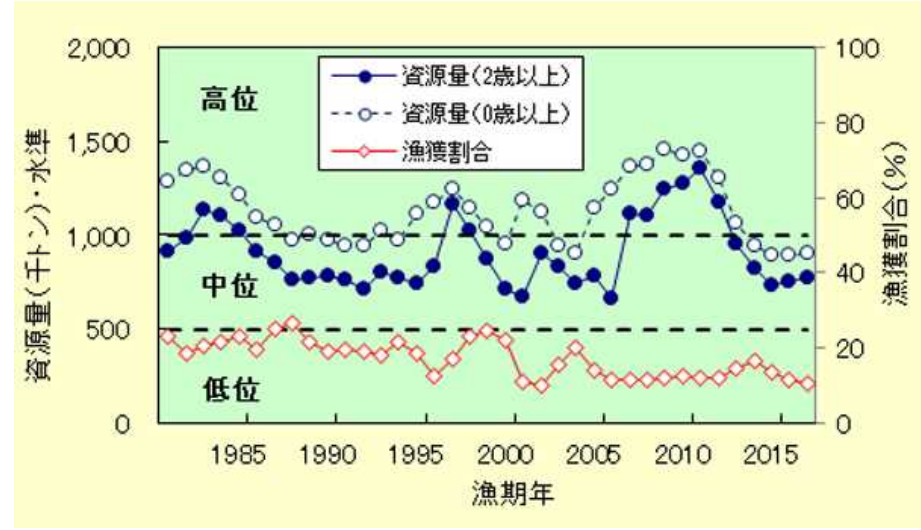
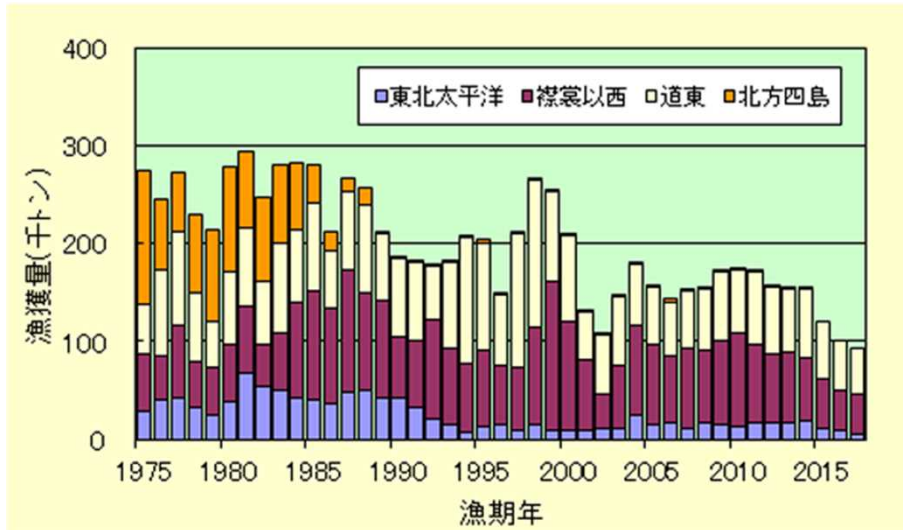
日本海北部系群

太平洋系群

10歳以上	8歳以上	親魚量
9歳魚	7歳魚	
8歳魚	6歳魚	
7歳魚	5歳魚	
6歳魚	4歳魚	
5歳魚	3歳魚	
4歳魚	2歳魚	
3歳魚	1歳魚	
2歳魚	0歳魚	加入量

資源量

スケトウダラ太平洋系群



2017年 漁獲量:9.3万トン

資源量:89.8万トン(2歳以上 77.5万トン)

親魚量:31.0万トン (Blimit=15.1万トンを上回る)

資源評価のまとめ

スケトウダラ太平洋系群

- 資源状況

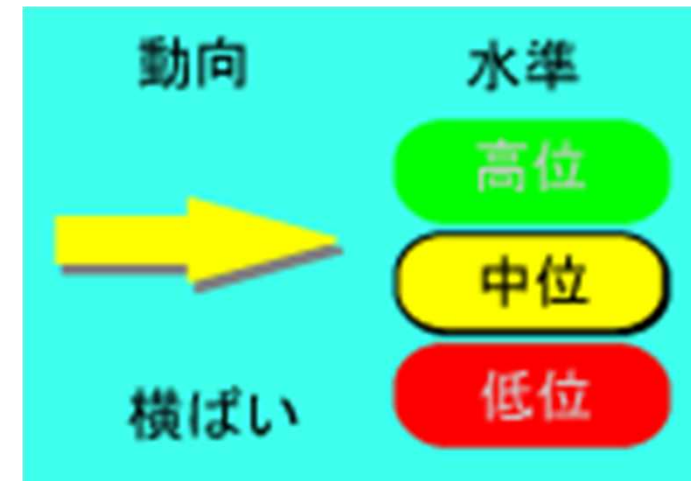
2017年：資源量89.8万トン

(水準判断に用いる2歳以上の資源量は77.5万トン)
親魚量31.0万トン(Blimitを上回る)

- 資源動向・資源水準

動向は横ばい、中位水準

- Blimitを上回って維持されているが、近年は親魚量に対し加入量が少ないことに留意が必要



2019年漁期ABC

スケトウダラ太平洋系群

✓ 2019年漁期の資源量と漁獲シナリオから、ABCを算出。

資源量 (2019) = 926千トン を仮定。親魚量 (2017) = 310千トン。Blimit = 151千トン

漁獲シナリオ (管理基準)	Target/ Limit	2019年 漁期 ABC (千トン)	漁獲 割合 (%)	F値 現状のF値から の増減%	2024年 漁期の 親魚量 (千トン) (80%区間)	確率評価 (%)	
						2024年漁期に 2017年漁期 親魚量を維持	2024年漁期に Blimitを維持
現状の漁獲圧 の維持 (Fcurrent)	Target	81	9	0.23 (-20%)	488 (244~779)	78	100
	Limit	99	11	0.29 (±0%)	443 (223~711)	74	100
親魚量の 中長期的 維持 (Fsus)	Target	149	16	0.47 (+61%)	318 (130~539)	46	86
	Limit	178	19	0.59 (+102%)	264 (109~447)	31	77